

8月2日 中部経済新聞・朝刊

自慢の鮎菓子ぎっしり

岐阜 国体期間限定で発売
岐阜商工会議所

【岐阜】岐阜商工会議所（堀江博海会頭）は1日、鮎菓子を詰め合わせた「ぎふ長良川銘菓 鮎めぐり」の完成発表会を開いた。岐阜市内の老舗和菓子店である甘泉堂総本店と金蝶堂、香梅、玉井屋本舗、奈良屋本店、緑水庵の6店が参加。



「食べ比べを楽しんで」と語る、香梅の小森文夫社長

各店自慢の鮎菓子7商品を詰め合わせ、オリジナルパッケージで発売する。9月に開幕するぎふ清流国体・ぎふ清流大会にあわせ期間限定で販売する計画。

販売価格は、1260円（税込み）。2日に岐阜高島屋で発売するほか、4日からは国体支援ショップ「納戸屋」で販売する。

堀江会頭は「鮎菓子は岐阜市を代表する名産品。地域の魅力を伝える土産となってい」と語った。

また、玉井屋本舗の玉井博祐社長は「菓子屋として初のコラボレーション企画。観光客はもちろん岐阜市民の方にも、ぜひ味わってほしい」と話した。

8月4日 中日新聞・朝刊

岐阜国体の来県者への土産にしよつと、岐阜商工会議所が中心となって岐阜市の長良川鵜飼のアユの形をした「鮎菓子」の詰め合わせ商品「ぎふ長良川銘菓鮎めぐり」の販売を始めた。（佐久間博康）

岐阜商議所など

「鮎めぐり」は、鮎菓子とのめぐり合いという意味で名付けた。商議所の月報で複数の鮎菓子を紹介したのがきっかけで、市内の玉井屋本舗（湊町）や「香梅」（加納栄町通）など和菓子店6社

「鮎菓子」国体の土産に

が協力して取り組んだ。館をカステラで包んだ菓子五種と焼き菓子二種の計七種が箱詰めされ、一個千二百六十円。岐阜高島屋（日ノ出町）で販売されている。九月二十九日～十月十五日の国体期間中はJR岐阜駅でも販売する予定。

商議所会頭の堀江博海・十六銀行頭取は「鮎菓子の魅力を全国に発信できれば」、玉井屋本舗の代表社員の玉井博祐さん（左）は「それぞれの店のこだわりの味を食べ比べて楽しんでほしい」と話した。



7種の鮎菓子を詰め込んだ「ぎふ長良川銘菓鮎めぐり」＝岐阜市の岐阜商工会議所で

6社の7種こだわりの味販売